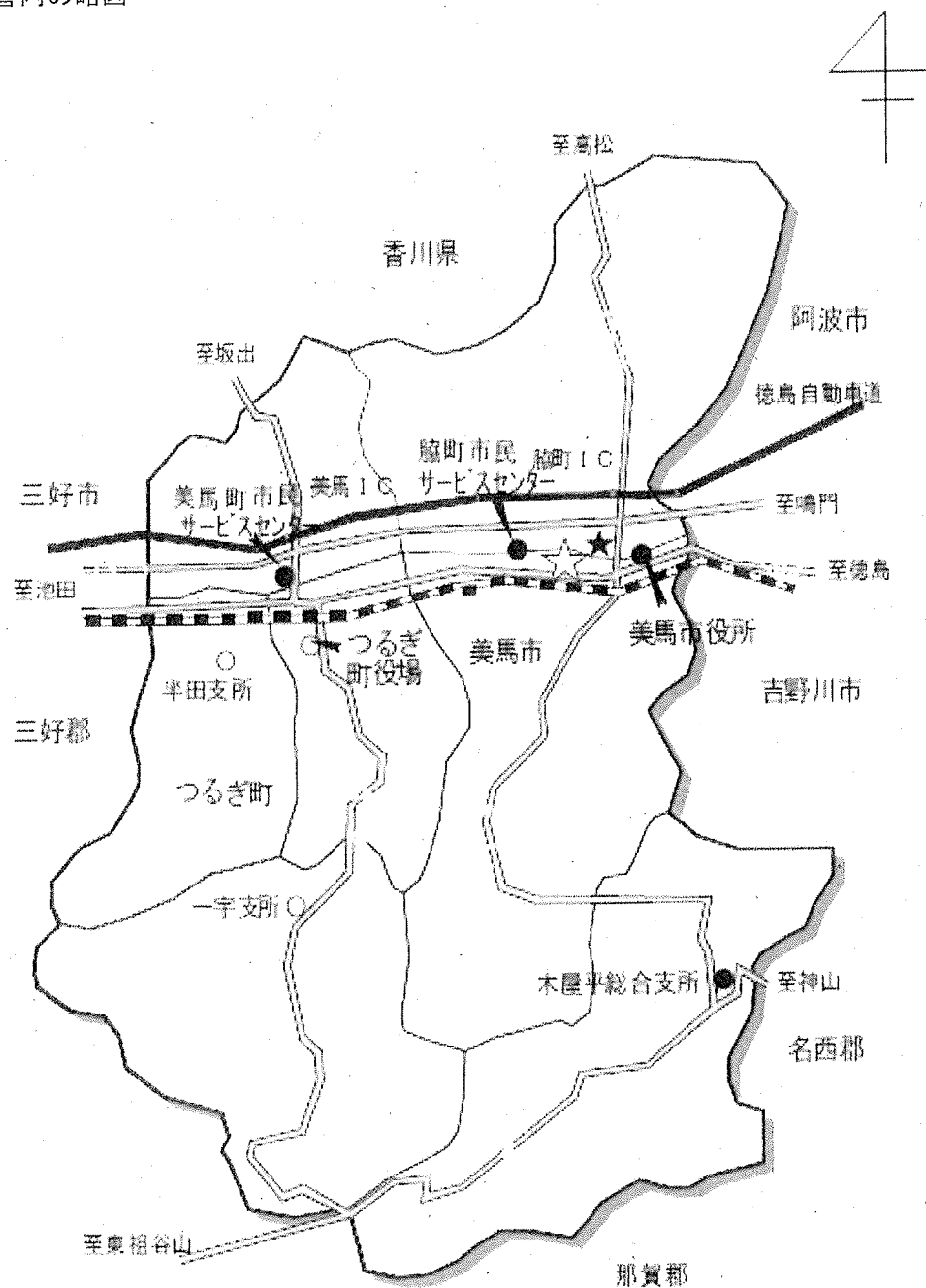


II 管内の概況

Ⅱ 管内の概況

1 管内図及び概況

(1) 管内の略図



★ 徳島県西部総合県民局 美馬庁舎

☆ 徳島県西部総合県民局 美馬保健所庁舎
(美馬保健所・西部こども女性相談センター)

(2) 一般的状況と特殊性

当管内は、本県中西部に位置し、美馬市とつるぎ町の1市1町で構成され、人口は令和5年7月1日現在33,532人、総面積は562.18 km²で県全体の13.6%を占めている。その80.9%にあたる454.89 km²が山間地域となっている。

また、人口に占める65歳以上の人口比率は令和5年7月1日現在で42.8%と高く、高齢化が進んでいる。

地勢は、管内を分断するように吉野川が中央部を東流しており、その流域に狭隘な平地が展開している。北岸地域には阿讃山脈が、南岸地域には四国山地が連なり、森林資源や水資源に恵まれた温暖な気候の自然豊かな地域であるが、冬季の気候は厳しく山間部を中心に積雪の観測される地域である。

交通網については、JR徳島線と国道192号が南岸地域を、県道12号・徳島自動車道が北岸地域をそれぞれ東西に走り、両地域を結ぶ形で国道193号をはじめ主要地方道路が南北に走っている。なお、徳島自動車道の管内整備により徳島市等への所要時間の短縮が図られている。

産業構造をみると、県平均と比較して第1次、2次産業の従事者割合が高いが、経営耕地面積が少なく、生産額も低い。また、他の産業においても経営基盤の脆弱なものが多い状況である。

2 人口動態等の状況

(1) 管内人口・面積

令和5年7月1日現在

区 分 市 町 名	推計人口（人）			推計世帯数 （戸）	面 積 （km ² ）
	男	女	総計		
美 馬 市	12,706	13,882	26,588	11,078	367.38
つ る ぎ 町	3,267	3,677	6,944	3,153	194.80
計	15,973	17,559	33,532	14,231	562.18

資料：徳島県統計情報

(2) 管内年齢3区分別人口・構成割合及び年次比較

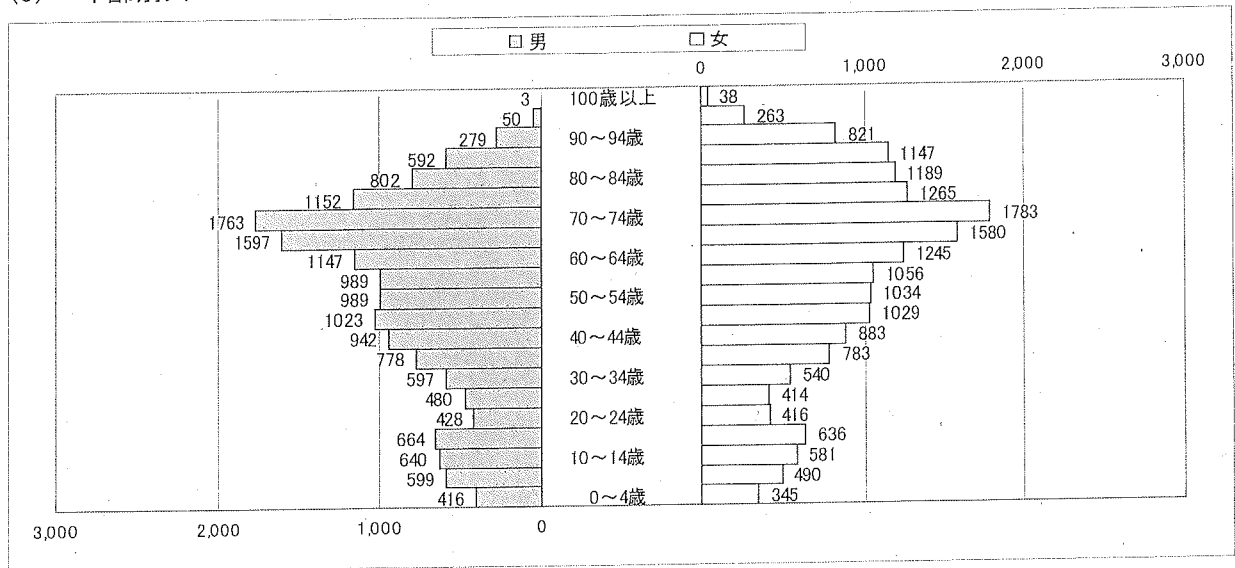
		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
年少人口 (0～14歳)	数	3,939	3,780	3,676	3,565	3,422	3,255	3,255	3,173	3,071
	率	10.0	9.7	9.7	9.6	9.4	9.1	9.3	9.3	9.2
生産年齢人口 (15～64歳)	数	20,860	20,223	19,559	18,899	18,304	17,715	17,205	16,583	16,073
	率	52.8	52.1	51.5	50.8	50.3	49.7	49.1	48.5	48.0
老年人口 (65歳以上)	数	14,613	14,726	14,714	14,757	14,705	14,654	14,514	14,466	14,324
	率	37.0	37.9	38.8	39.6	40.3	41.1	41.4	42.3	42.8
総人口		39,412	38,729	37,949	37,221	36,431	35,624	35,039	34,222	33,468

資料：徳島県統計情報（年齢3階級別人口）

（年齢不詳は含まず）

令和5年の年少人口及び生産年齢人口の割合は、令和元年に比べて0.2及び2.3ポイント低下し、老年人口の割合は、2.5ポイント増加している。

(3) 年齢別人口



令和5年7月1日現在

資料：徳島県統計情報（年齢5階級別人口）

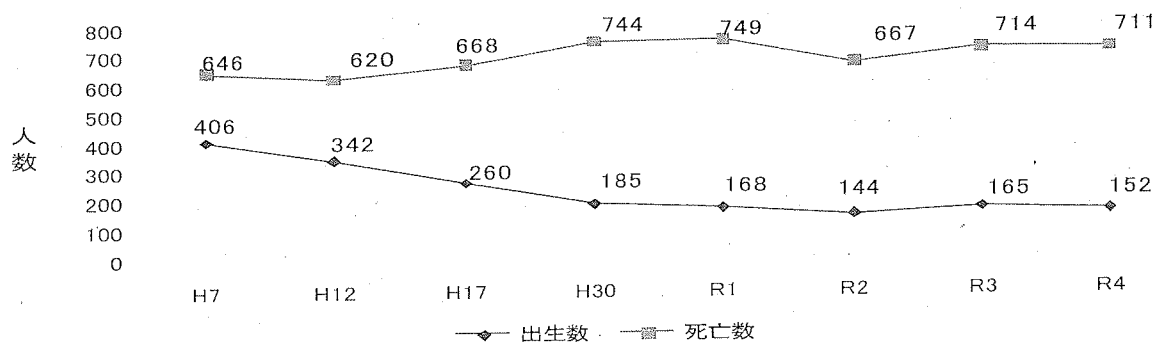
（年齢不詳は含まず）

(4) 人口動態総覧

令和4年

		出生 (率:人口千対)	死亡 (率:人口千対)	乳児死亡 (率:出生千対)	新生児死亡 (率:出生千対)	死産 (率:※)	周産期死亡 (率:出産千対)	婚姻 (率:人口千対)	離婚 (率:人口千対)
管内	数	152	711	0	0	3	0	93	43
	率	4.4	20.8	0	0	19.4	0	2.7	1.26
県	率	5.9	15.7	1.2	0.2	18.7	2.4	3.4	1.44
全国	率	6.3	12.9	1.8	0.8	19.3	3.3	4.1	1.47

出生数と死亡数の年次推移



*死産は出産（出生＋死産数）千対

資料：徳島県保健・衛生統計年報

出生数については平成7年には406人であったが、減少を続け27年後の令和4年には152人となり、出生率でも県・全国を下回っている。死亡数については、近年ほぼ横ばいで推移しているが死亡率をみると、県・全国を大きく上回っている。

(5) 管内主要死因別死亡数・率（人口10万対）の年次推移

		平成7年	平成12年	平成17年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
悪性新生物	数	157	163	176	177	163	148	163	129
	率	297.3	327.8	382.9	476.7	448.5	418.8	467.6	377.6
脳血管疾患	数	138	96	47	47	41	52	48	41
	率	261.3	193.0	176.2	126.6	112.8	147.2	137.7	120.0
心疾患	数	113	103	106	104	121	102	110	106
	率	214.0	207.1	230.6	280.1	332.9	288.6	315.6	310.3
肺炎	数	50	71	61	63	70	59	66	56
	率	94.7	142.8	132.7	119.5	192.6	167.0	189.3	163.9
不慮の事故	数	22	26	20	22	31	16	25	29
	率	41.7	52.3	43.5	59.2	85.3	45.3	71.7	84.9
老衰	数	14	14	22	64	56	63	59	70
	率	26.5	28.2	47.9	172.4	154.1	178.3	169.3	204.9
自殺	数	11	19	13	7	10	9	4	3
	率	20.8	38.2	28.3	18.9	27.5	25.5	11.5	8.8

資料：徳島県保健・衛生統計年報

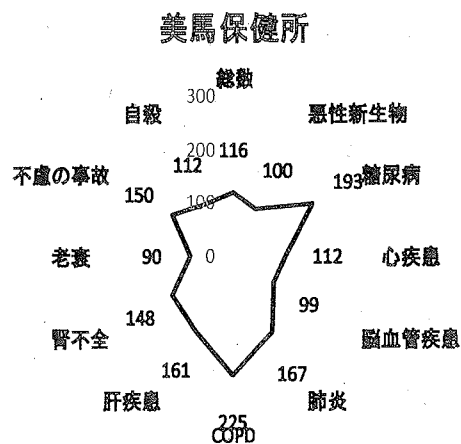
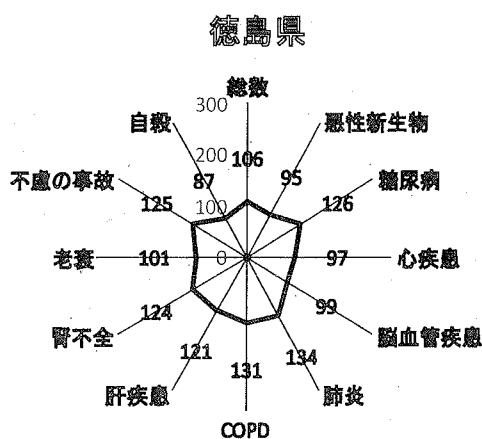
3大生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡が6割以上を占める。（平成7年1月1日、国際疾病分類の変更に伴い人口動態の死因分類も変更されたため、死因別死亡数に影響。）

(6) 主要疾患別標準化死亡比（SMR）

使用年数：H30年～R4年

美馬保健所管内では、老衰を除く疾患について、全国より高くなっています。

徳島県人口動態システム



※標準化死亡比(SMR)

その地域の年齢構成の違いを除いて、死亡率を全国と比較するための指標で、全国と同じであれば 100 となります。SMR が 100 を超えると全国平均より死亡数が多いと判断され、100 未満だと少ないことを意味します。今回の SMR に使用した死亡数は、平成 30 年～令和 4 年までの 5 年間の死亡数を元に計算しています。

3 医療施設等の状況

(1) 医療施設数

令和6年4月1日現在

17) 医療施設数											
市 町 名	病 院							一 般 診 療 所			歯科診療所
	施設数	病 床 数						有 床		無 床	施設数
		精神	感染症	結核	療養	一 般	計	施設数	病床数	施設数	
美 馬 市	6 (2)	342	0	0	76	160	578	4 (1)	62 (18)	23	16
つるぎ町	2 (1)	0	0	0	33	120	153	0 (0)	0 (0)	4	4
計	8 (3)	342	0	0	109	280	731	4 (1)	62 (18)	27	20

*注 () については療養病床を再掲

*休止中の医療機関を除く

(2) 医療施設数の人口10万に対する率

令和4年10月1日現在

区分	施設	病 院	診 療 所	歯科診療所
管内		23.4	99.5	58.5
徳島県		15.1	99.9	60.0
全国		6.5	84.2	54.2

資料：徳島県保健・衛生統計年報

